

交換学生相互受入・派遣事業

去年、今年と新型コロナウイルスのため、
交換学生相互受入・派遣事業は実施ができませんでした。
ベルビュー市側の担当者からは「伝統ある交換学生の事業を実施できないことは、
非常に心苦しいが、コロナ禍が終息し、是非事業が再開できることを
強く願っています」とメッセージをいただいています。



元交換学生にインタビュー！

飯尾 健太郎

現在職業 交通コンサルタント

※交通コンサルタント：道路の設計・交通流のシミュレーション、舗装の改良をする仕事。

交換学生応募きっかけ

「今まで外国に行ったこと無いし何だか面白そうだからダメ元で応募してみよう」という軽い気持ちで応募しました。

滞在時思い出

交換学生のコナー君の友達と遊んだこと(当時あまり英語は分かりませんでした)、映画に連れて行ってもらったのに時差ボケで途中寝てしまったこと、赤いゴムのような不味い謎のお菓子を食べたこと、ホストファミリーと一緒にペルセウス座流星群を見たこと、アルカイビーチで夕日を見たことなど、現地の人にとっては何気ない日常が私にとっては全て思い出になりました。

帰国後、留学経験がどのように活かされたか

交換留学を通じて海外のことに興味を持つようになり、帰国後英語の勉強を自然に頑張れました。現在はアメリカで交通コンサルタントとして働いていますが、ベルビューへの交換留学に応募したこと、その際に温かく接してくださった方々との出会いが今に繋がっていると感じます。

これから交換学生を目指す学生へ一言

初めは英語が不安かと思いますが、とりあえず応募してみましょう！

儀部 薫

現在職業 代表取締役社長

交換学生応募きっかけ

アメリカに憧れていて、留学の機会を探していました。

滞在時思い出

- ・ホストマザーとたくさん話をして、たくさん笑ったこと
- ・ベルビュー近辺だけではなく、バンクーバーやオレゴンなど、旅行に連れて行ってもらったこと
- ・レイクワシントンでクルージングやカヤックを楽しんだこと

帰国後、留学経験がどのように活かされたか

まずは人生を楽しめるようになったと思います。

また、日本の社会では学べなかった愛情表現をすることや、自分の気持ちを伝えること、イエス・ノーで物事を判断していいということなどを学んだと同時に、日本という国の文化がとても素晴らしいことにも気づきました。

そのため、日本が大好きになり、自分のことも大好きになりました。

これから交換学生を目指す学生へ一言

日本はとてもいい国です。それを海外に出ていくことで、実感してほしいと思います。英語が好きだから英語を仕事にしたい、というだけではなく、英語を使って何がしたいか、ということも少しずつ考えてほしいと思います。